

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2016年3月27日 第213号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



“沖繩の基地に核配備の密約が
不破哲三さんが講演で明らかに”

3月16日、日本共産党の前議長である不破哲三さんが沖縄で行った講演会の詳細が日刊「赤旗」の19日付で掲載。不破さんは「沖縄の基地には世界のどこにもないことが二つある」①米軍がこれだけ横暴勝手な振る舞いしている基地は、世界には存在しない②沖縄米軍の主力である海兵隊は「海外への殴り込み」が主な任務で、「名称も第3海兵遠征軍。日本や沖縄を守るという任務はどこにもない」と指摘。また、「沖縄の核抜き返還」は表向きで「重大なのは沖縄が他国を核兵器で先制攻撃する巨大な最前線基地になってきた」と述べ、極東有事などの際、米国はいつでも沖縄に核兵器を持ちこむことができる密約を佐藤栄作首相とニクソン米大統領が締結。そのために核貯蔵庫は「使用できる状態で維持」との内容がある事を著作やテレビ番組から紹介しました。

そして今、大問題の辺野古新基地の狙いは「殴り込み部隊としての海兵隊基地の圧倒的強化にあり、海上施設およびすべての関連構造物は、40年の運用年数と200年の耐久年数を持つようにする」と米国防総省の文書で暴露しました。不破さんは「辺野古新基地反対の闘いと戦争法反対の本土の闘いが合流し歴史的大闘争に全力あげましょう」と結びました。アベ氏によって半永久的に日本が米国に売り渡されるのは絶対イヤです。(編集室)

のり子の週刊日誌—主なもの—

- 3月25日 市駅・吉宗像前宣伝、介護事業所訪問、自治会行事
- 26日 地域訪問、イブミヤ前宣伝行動、
- 27日 孫市祭りボランティア、地域訪問、会議
- 28日 庁内訪問、
- 29日 会議、南海電鉄交渉
- 30日 地域訪問
- 31日 無料生活相談、地域訪問、団会議

一般質問② 「介護離職ゼロ」に逆行する国の改悪
介護充実へ人材確保のため処遇改善を

前号に続き介護問題について質しました。奥村県議は、政府は「介護離職ゼロ」をかかげながら制度改悪を連続していることを批判しました。奥村県議は、介護報酬の基本報酬がマイナス4・48%と大幅に引き下げられたことにより、介護事業所の75%が減収、小規模通所介護では81%が減収となるなか、賃金水準の低さから51%の事業所

で人材不足になっている県内のアンケート調査結果を紹介しました。また、特別養護老人ホーム入所者は要介護3以上に制限や、利用料2割への負担増、要介護1・2の在宅サービス原則自己負担など、いつもの負担増と給付削減が進められていることを指摘。これでは在宅での親の介護などで介護離職者がさらに増えると訴え、2017年度



写真の主役は左のベンチです。地域のみなさんがかねてから要望していたベンチの設置が実現。全部で10脚、市駅前の雰囲気少し和らいだ感じですよ。



子ども冷たい春

先日、卒園式から帰る親子を車窓から見ました。飛び跳ねるように歩く子どもの姿に、来月の入学式を楽しみにしているだろうと思うと私まで嬉しくなりました。

同時に、子どもたちの明るい将来をしっかりと守りたいとも思いました。入学式を迎えるとたくさん学用品の準備が必要で、中学になると制服やカバンなど9万円ほどに、払えなくて入学式に来れない子どももいると聞きました。日本は、国内総生産に占

OECD加盟34カ国で最下位



3月14日和歌山市の重税反対統一行動で連帯のあいさつし行進する坂口です(中央)

める教育機関への公的支出はたった3.5%、OECD(経済協力開発機構)加盟34カ国中、最下位です。世界3位の経済大国にも関わらず子どもに費やす予算が少なすぎます。憲法26条2項では「義務教育はこれを無償とする」とあります。憲法を守って政治をするというあたりまえの社会をつくっていききたいと思えます。

参院選挙区
予定候補
坂口多美子

